

市長最後に、今まで3点質問しましたけども、御意見があれば、拝聴したいと思います。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 大変参考になる貴重な御提案をいただいたというふうに思っております。私自身も、先ほど申されたように、この御朱印等は、今、ブームでありますので、このブームのときに、これだけ対馬でも130社ある神社。先ほどそして厳原のお寺が多いなどは思っていましたけど、32お寺あるというようなことでございますので、このことを今後の観光振興につなげてまいりたいというふうに思っております。

そして、また、人口減少対策につきましても、今、何せ、インターネットの時代でありますので、インターネット環境が都会に遜色ない環境にすることで、リモートワークとワーケーションと、こういったところがやれていきますので、このことも一所懸命に進めてまいりたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 8番、船越洋一君。

○議員（8番 船越 洋一君） 時間が1分切りましたので、最後のお礼だけ言っときますが、市長、それから、観光交流商工部長、農林水産部長、よろしくお願いしますよ。あなたたちが頼りですから、しっかり対馬を担っていくのは、あなたたちの能力ですから。それに決断を下すのは市長でしょうから。お願いをして、私の一般質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、船越洋一君の質問は終わりました。

○議長（初村 久藏君） 暫時休憩します。2時5分から再開します。

午後1時51分休憩

午後2時05分再開

○議長（初村 久藏君） 再開します。

報告します。上野洋次郎君から早退の届出があっております。

引き続き、市政一般質問を行います。13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 皆様、こんにちは。大変お疲れさまです。対政会の波田政和でございます。市長をはじめ執行部の皆さんにおかれましては、コロナ禍の中、毎日の行政運営で大変お疲れとは存じますが、質問の機会を頂きましたので何点かお尋ねしたいと思っております。

また、今議会の中で南部地区アクションプランが実現に向け進んでいる報告があり、南部地区出身の議員として感動しております。地域住民が納得いく住みやすい地域づくりに期待しております。ありがとうございました。どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、猛威を振るった新型コロナウイルス感染も少し落ち着きを見せておりますが、新たに新種のウイルスも発生し引き続きお互い細心の注意を怠らず、毎日を平和に過ごせることを願っております。

また、島内経済支援策も上程がなされているようにありますが、市民皆様に平等であっていただきたいと願っております。さきの議会でも話しましたが市民一人一人に生活への体力をつけさせることが重要だと私は思っていますので考えてみてはいかがでしょうか。

それでは、本題に入らせていただきますが、まず、市長へ毎回の質疑の中で市民目線に立った御答弁のお願いを申しとおると思っておりますが、今回は市の管轄外の質疑も入っていることから、対馬市に在住する、生活する市民にとっては管轄区別は行政だけの問題であり市民生活に影響があることについては積極的に取り組んでいただいていると理解はしております。市民の声を伝え、行政と共戦の決意で臨んでおりますことから御対応をお願いしておきます。

まず、1点目の市道横町線と国道382号線の交通安全対策及び道路整備についてでございます。

共通の認識を求めるために確認の意味からお尋ねしておきます。町並み整備は住みよく快適な暮らしを1日も早く与えることを目的に計画的に行われていると思っておりますが、巖原本川、通称、川端通りであります国道382号線の起点側にあります佐野屋橋から川端通り上流にあります遊月橋前間の路面は改修の必要性が急務であると感じております。

また、市道横町線拡張工事に伴い大手橋交差点の国道側に一時停止規制がなされており、この橋の欄干が高いことから視界が悪く改良の必要があると私は考えますが、市長のお考えをお伺いいたします。

また、現在のように国道側に一時停止の規制をかけ市道側を優先させた理由も含めて市民が納得する説明をできたらお願いしたいと思っております。

次に、2点目の市道久田日掛線の道路改良及び交通安全対策についてお尋ねをいたします。今回は久田側についてお尋ねします。

久田白子地区にあります、ありあけ会館前から、通称、ペンション村入り口の通学路の整備についてですが、近年、交通量は減少しているものの通学路の安全対策に欠けている点も見受けられます。そのようなことから早急に通学歩道の安全対策に取り組んでいただきたい。

現在、この通学路においては校区の関係者の方々の御尽力で登下校の事故は防いでいるものの設備面での改良不足で事故が起きることはこの道路を管理する市の責任からも絶対にあってはならないと思っております。

近日では、本年10月、千葉県八街市で発生しました通学途中の小学生の列にトラックが突っ込み、児童5人が死傷した事例がっております。また、人的に防げていたかもしれない案件も

発生しております。

これまでもこの路線における点検や計画の検討はなされてきたと思いますが、現在、休止されている道路整備の今後の計画または通学路の安全性の担保について、大きく2点について市長の御答弁を願っておきます。

また、内容次第で自席より再質問したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 波田議員の質問にお答えいたします。

まず、現在、改良を進めております市道横町線の進捗についてでございますが、平成22年10月に地権者等を対象としました意見交換会をはじめに事業説明会、また沿線の方々はもとよりこれまでまちづくりに関わっていただきましたまちづくり整備委員会や関係団体など多くの皆様に御協力いただきました。

約2か年にわたり開催してきました横町線並びにふれあい処つしまの整備に関するワークショップなどで御意見や御協力を得て実施してきた都市計画道路横町線改築事業も巖原郵便局から今屋敷公園部分の約65メートルを残すのみとなっており、順調に進めば無電柱化事業の抜柱が少々遅れるものの道路部の完成を来年の7月をめどに施工しているところでございます。

改良前の状況は、道幅4メートル程度にも関わらず車両や歩行者が混入し安全確保もままならない状況でございました。本路線の完成後は歩車道を分離し交通の安全も確保しつつ防災の観点からも安心感のある道路となることと考えております。

都市計画道路横町線の経緯でございますが、昭和43年に都市計画決定されました7路線のうちの1路線で、巖原町大手橋地区を起点、終点を巖原町国分市役所前の桜橋とする約320メートル、幅員12メートルの計画路線でございます。

そのうちの主要地方道巖原豆敷美津島線より市役所側は対馬市交流センターの整備と併せ平成13年度から18年度にかけて約110メートルを整備しているところでございます。

現在、実施中の区間につきましては、第2期巖原城下町地区都市再生整備計画事業の核となる事業と位置づけ、対馬市まちづくり活性化推進協議会などを経まして事業計画に至っております。

本区間の整備の主な目的ですが、まず巖原本川に連なる川端通り商店街と市街地の観光商工の核となる対馬市交流センターを結び、人や物を循環させることにより相乗効果の向上を図ることでございます。2つ目は、交流人口の増加に伴い本路線を通る歩行者が増え、従来利用されていた通行車両等へ支障をきたしていたこと、3つ目は、防災上の観点からでございますが、巖原の城下町は大火に見舞われた経緯もあることから防火壁や木造の橋梁を石橋に架け替えられるなどの施策が取られてきた経緯もあり、本路線を幅員12メートルで整備することで、万が一、火災が発生した場合の延焼防止、また緊急車両の進入も容易となり安心・安全なまちづくりを主な目

的として事業着手しているところでございます。

横町線と国道の交差部でございますが、大手橋の高欄、また国道の転落防止柵によりまして車両からの視界が悪く、より慎重な通行をせざるを得ない状況でございます。巖原本川に架かる8つの橋梁は、今から約30年前、平成の城下町づくり事業、川端8橋で整備されたものでございます。

本橋梁には景観を楽しむため歩道に人だまりを設置し、歩道部に必要な転落防止柵も兼ねておりますので、路面からの高さを確保しているところでございます。また、景観上、石材を使用していますので各部材も大きく双方の目視確認が難しい状況で、完成当ても車や人が見えにくいなどの意見が寄せられた経緯もあると聞いております。

道路施設の機能と城下町の景観の両立は難しく、当時からそのような御意見に対し御理解をお願いし今日に至っている次第であります。国道382号並びに横町線を利用される市民の皆様には通行の支障になるかとは存じますが、今後も大手橋の形状に御理解を賜り慎重な通行に御配慮くださいますようお願いいたします。

国道382号の路面状況につきましては、私も実は昨日も現地のほうに出向いて見させていただきました。気にかかるところであります。管理者である県にも平成の城下町づくり事業へ同調いただき、同路線の遊月橋の改良並びに同橋から佐野屋橋までの区間を石張り舗装に改良していただいたと聞いております。

そのような経緯がある東川端通りは城下町の景観に関わる重要な部分でもございます。現状を見ますと経年劣化も進んでおりますので、これまでの経緯も踏まえながら、県と今一度、協議、連携し子供から高齢者まで暮らしやすいまちづくりを目指し、現在、進めております新たな市街地の整備計画に取り組んでまいりたいと考えております。

この中で、国道382号が一時停止となり見えにくいというようなことで、なぜ横町線が優先道路となったのかというような御質問がございました。このことにつきましては、横町線の令和2年3月末の完成を見据え令和2年2月末から南警察署と協議を進める中で、県公安委員会が幅員が広い道路を優先道路とするとの決定がなされているところでございます。

市といたしましては、その後、市民の意見を踏まえ、これまでどおり国道を優先道路にしてほしい、また優先道路が分かりづらいこともあり協議を重ねましたが、国道に一時停止線を設け警察による街頭指導を実施するとの回答があり今日に至っているところであります。

次に、市道久田日掛線の道路改良及び交通安全対策についてでございますが、市道久田日掛線の久田工区につきましては、計画延長約420メートル、事業期間が平成13年度から平成16年度までの4か年で、事業実施延長は主要地方道巖原豆殿美津島線との交差部から約320メートル、全体幅員約10メートルのうち片側歩道2.5メートルで施工しているところでございます。

実施当時、峰越団地並びに通称ガーデンヒルズに居住区域が広がっていることもありまして、計画どおり事業が進めば歩道も整備され安全な通学路も確保されることから、事業推進の措置を講じてまいりましたが未達成のまま施工箇所を日掛工区に移したと聞いております。

施工箇所を移してから十数年経過し、児童の通学するルートも比較的安全なガーデンヒルズ内を利用していることから事業再開の措置を講じてこなかったことは否めません。

つきましては、当時、断念いたしました約100メートルの未完成区間に着手できるよう働きかけるとともに、短期的に通学の安全確保ができるよう関係部局や県警と協議をしながら整備を進めてまいり所存であります。

以上であります。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 御答弁ありがとうございます。

まず、初めに市道横町線の話になりますが、これまでの歴史とか、今、縷々説明がありました。そういう中で少し具体的な話をさせていただきます。

市民の利便性を考えての工事でなかろうかとは理解しておりますから、その辺の中で専門的分野ではございませんが横町線を広げるに当たり、設計する段階からもう実は私が今、指摘しました橋の構造が縦断曲線構造でございますので腹が膨らんでいるのは分かっておりますと言うか、それは分かって横町線を設計したという捉え方でよろしいんですかね。

そうなりますと、当初からまず橋をやり直すのか、それとも横町線を地上げするのかとか、いろんな方法があったのではなかろうかなと考えます。私が言っているのはまちづくりというのはそういう住みやすいのを基本に進んでいくべきものではないかなと思っております。

だから、今、市長の言うのは、言葉は適切かどうか分かりませんが、取り付けたような話に聞こえるんですね。住みよいまちづくりをやるなら欄干が高いから転落防止柵が高いから離合するのに難しいと言っているわけですから、そしたらそれを改善してやるのが市長の仕事ではないんですかね。それはそういう橋の造りも大事かもしれません。しかしそういう景観よりも大事なのって住みやすいのを造ってやるのが仕事ではないんですかね。今、現況にそういう形だからやむを得ないんですよということだったら、全てがやむを得ないことになるではないですか。私が言っているのは、先ほども市長が新たな整備計画も考えながらやっていくという話をなされたので、この辺は期待をしたいと思いますが、いずれにしても現況よりよくしてやらなければいけないということを私は強くお願いしたいんですよ。だから、何を優先するかというのは、それは考え方かもしれません。しかし、安全を優先するのが当たり前ではないんですかね。

そして、次に管轄違いの路面の話になりますが、市長も行かれて分かったとおり国道に石張りを敷くなんか普通は考えられない話ですよ。でも結局はそうなっているわけですから、もちろん

補修はしっかりしてあります。してありますが、だからと言ってそのままではいけないではないですか。もう通ってみてもガタガタと音はするし非常に行きにくいです。

先ほどから児童の安全面も含めて言っておりますが、歩道も車道もあそこは分からないですね、何が何やら。そういうことも優しい町並みづくりの中に入れてもらわないと、せっかくやるのが成果として出ないのではなかろうかと思えます。

だから、今、何点か話しましたように橋が大事ならもう少し横町線の考え方を変えてもよかったのではなかろうかなとは思っております。安全を最優先するならですよ。

そういう中で、今、市長が申す中で私なりに考えたんですけど、住みよいまちづくりをやるためにこの計画は進めてきたという話でございますが、皆さんも御存じのようにあの路線には郵便局がありまして、今、減築工事がなされておりますよね。そういう中でもともと買収するであろうという場所が仮囲いで囲ってありますよね。非常にあそこは狭隘で通りにくいではないですか。私がここでお願いしたいのは、発注先が仮に違ったとしても市の管理者としてあの対策がなぜできないのか、工期があるから工期いっぱいあのままでもいいという考え方でやったら優しくないではないですか。

なぜならば、仮囲いするということはあそこが狭くなりますよね、あそこは信号機があるんですよ。市が管轄する幅員が広がっている場所があるではないですか、あそこを停止位置にするぐらいの考えはないんですか。そしたらあそこはもう少し、1台しか通れませんが、あそこで離合するのも大変ですよ、車の離合。それとまた人間も歩きますのでね、そういうことまでこれから考えていってもらいたいということをお話したいんですよ。

だから、幾ら工期があるまで仕方ないですよということの話だったら、山の中をやっているわけではないんですから、その辺をちょっと今後、今回は市は直接関係なかったとしても、市とすれば停止位置をバックするのは簡単なことです、決めればいいことですから。歩行者安全第一と考えるならですね、市長、私が言っている意味を分かっただけですか。どうですか。ちょっとそこを答えてください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） まず、大手橋のところとのすり付けの関係でありますけども、昨日、私も夕方に現地のほうに出向いて担当者からの説明もしてもらいました。そのときに何であそこの手橋のほうは結構高くて、10%ぐらいの勾配がついてすり付けてあるんですけども、何でこちらが上げられなかったのかということについては、やはり横町線のほうを上げますと今度は雨が降った場合等にその雨水が民地のほうに流れ込む可能性があるというようなことから、もうやむを得なかったというようなことを聞いております。

それと、またこの、今、元郵便局跡の仮囲いの件につきましては後ほど担当部長のほうにち

よっと答弁させていただきますけども、今度、遊月橋から大手橋付近の国道382号線の路面ブロックについては担当課のほうで県のほうとも話を進めているみたいで、県のほうも検討していきたいということを言っているそうでございますので、もうしばらくお待ちいただければというふうに思います。

○議長（初村 久藏君） 建設部長、佐々木雅仁君。

○建設部長（佐々木 雅仁君） 郵便局横の仮囲いの件でございますけども、この仮囲いにつきましては、今、郵便局の解体工事に伴いまして郵便局のほう側が工事発注業者をお願いをして造っているところでございます。

それで、市のほうからの指導もあまりうまくできていなかったということも反省しておりますが、この工事自体が郵便局のくいを抜いた後に12月中には市のほうに用地が引き渡されるということを知っております。

今、波田議員がおっしゃられるように停止位置を今の位置から既にも買収している後ろのほうにバックできないかということだと思いますけども、それについては警察のほうともちょっと協議はしてみたいと思います。

以上でございます。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 分かりました。前向きに考えてあるということは理解しておりますが、先ほどから話しますように指摘されたら誰でもできるんですね。指摘する前に住みよいまちづくりをとという話をしていると思うんですよ。だから、そういったことを考えたら1日も早く離合しやすく快適になれるようにしていただきたい、停止線の話はそうです。今の話では12月いっぱい仮囲いを解くんですか、そして市が権限を持つんですか、もう一度、教えてください。

○議長（初村 久藏君） 建設部長、佐々木雅仁君。

○建設部長（佐々木 雅仁君） 12月中にはもう市のほうに用地が引き渡されるというふうになっております。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 分かりました。ということは、あそこが引き渡すイコールまた市としては工事を発注するということになりますよね。そしたらまだ日にちはずっとかかるということにならないですか、どうですか、もう一度、そこを。

○議長（初村 久藏君） 建設部長、佐々木雅仁君。

○建設部長（佐々木 雅仁君） もう工事については施工業者も決まっておりますし、その前に電線の地中化工事も入ってきます。その地中化のほうの契約も既に済んでおりますので、仮囲いが

取れたら早急にかかるように業者のほうに指導したいと思います。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） 分かりました。そうしますと、今の私が早合点で今回質疑したのがよかったか悪かったかは別としまして、1日も早くそういった施工ができるように生活しやすいまちづくりのために早急にやってください。その期間中もそんな3日や5日でできる話ではございませんから、もう少し交通渋滞をなくすために停止位置をセットバックすることをすぐ動いてみたらどうでしょうか。そのほうがあそこはやりやすいと思っておりますが、その辺はまた再度御検討ください。

次に、先ほどのペンション村の通りの話でございますが、いろいろ途中で工事が中断した話も理解はしました。私が言いたいのは、住んである方が自主的に自分たちの安全を見つけるための道路を造ったわけではございませんが、市有地を通りながらでも安全対策に努めているということが現況だと思います。

私がここでお願いしたいのは、今、私がこの話をしたわけですから逆に言えば対策というのは幾つでもあると思うんですね。例えば本当で何とかしなくてはいけないと思うならスクールゾーンでありますよと明確に標識を付けるとかですね、グリーンベルトを敷設するとか、いろんな看板を立てるとかしてできるのではないですか。先ほど交通事故の事例も言いましたけども何かあったら遅いんですよ。私が一番、あの付近を見てもらえば分かりますけども、ありあけ会館の左側にずっと路側帯があるんですよ、もう途中で切れているんですよ。ここを問題視しているんですよ。切れているからそこで何か案内してやらないといけないではないですか。だからそれは市でできることです、そんなことは。同じ幅員取って同じ形態をやってくれと言っているわけではないんですよ、視覚効果とでも言いますかね、みんなに分かるように、本当はここはスクールゾーンなんだけども、ここで注意してくださいよとか、そういったことを注意喚起ができる対策を取っていただきたいということをこの場所では強くお願いしたいんですね。そうすることによってお互い意識するではないですか。その辺が市として何かあってからでは遅いので何もないうちにこういう話をしております。また、そうすることによって地域住民も安心をすると思っております。

また、この久田地区は生徒さんもたくさん、少ない学校ではございませんのでいろんなそういった各方面からもたくさん通勤してきてありますが、全体から言ってもまだまだ未整備なところがたくさんあると思います。そういうことを考えながら、しっかりした設備も大事かもしれませんが間に合わなかったら視覚効果、目で見えて分かるようなものを要望しておきたいなと思っております。市長、ここはどうでしょうか。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 今、議員おっしゃられる場所につきましても、昨日、見てまいりましたけども、確かに途中で切れているということで何らかの措置が必要かなと思いますので、今後、担当部のほうとも協議をいたしまして何とかそのような形で進めていきたいなと思います。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。そのように市民の声がそっち方向の話があつておりますので、ぜひ取り上げていただいて何とか安全対策を取っていただきたいと思っております。期待しておりますのでよろしくお願い致します。

それと、もう1点、通告外ではございますが関連として1つお尋ねをしておきます。

先ほどから、川端、大町に通じるまでのお話をしておりますが、市長は今議会もたくさん観光誘致とかPRとか話をされていますよね。それはなぜかということは対馬の経済を上向きにやらんがためのことだと思っているんですよ。そういう中で対馬のPRのために笑い事ではございませんけど1つ提案をしておきたいんです。観光を盛り上げるために、いいですか、今、世の中の話題沸騰の日本ハムファイターズ、新庄さん、実は対馬の方なんですよね。そういったことで既に御承知と思いますが、前回、この人も民放で「爆買い☆スター恩返し」ということで対馬で入れてあるんですよ。この方なんか観光大使に迎え入れてでも何とか1つ起爆剤ができるのではないかなと私なりに思っております。そういった意味から、また違う発想のもとお願いしてはどうかなと思っておりますが、市長、どっか隅にはございませんでしたか、ひとつお答えください。

○議長（初村 久藏君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝 尚喜君） 実は私のところに直接ではありませんでしたけども、市民の方から日ハムのビッグボスは対馬出身だということで、何か役割と申しますか対馬に呼べないかなというように何かお話がありましたということで、私のところに報告はございました。

そういうことでありますし、今、日本ハムファイターズの監督に就任されたばかりでまだまだおそろくばたばたしてあることだろうとは思いますが、ちょっとまたそこら辺は観光大使等をお願いすることが可能かどうかも含めまして、また観光部局等といろいろと協議はしてみたいというふうに思います。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。市民の方もそういった情報を市長さんにお話があつたと説明がありました。ならやっぱりすぐにでも当たってみる必要もいいではないですか、相手がいい悪いは別として。この間、テレビを見ておりましたら、私はバラエティーでもたくさん出ながらでもやっていきたいみたいな話も話してられました。そういったことを考えたら、やっぱり一言言葉を発することによってまた違う効果が出るかもしれないではないです

か、その辺も含めてどうですか、観光交流商工部長、せっかくですから一言。

○議長（初村 久藏君） 観光交流商工部長、村井英哉君。

○観光交流商工部長（村井 英哉君） 今、波田議員おっしゃいましたように、実は11月初旬だったと思うんですけども、うちの観光商工課長がちょうど東京のほうに別件で出張というようなことがありますて、その折に課長のほうも今まさに議員おっしゃってくださったようなそういうアプローチをかけに行きたいというような入り口を探そうという矢先だったんですけども、今回、監督になられるということがちょうどその頃だったと思うんですけども、今のところ、今、市長が申しますように多忙な時期かなと、いろんなこともあってちょっとそのときは入り口を探すのは待っておったというようなこともありますので、ぜひこれから先、せっかくですので何とか観光大使とかそういう立場になっていただけないか、そのアプローチをかけて入り口を探してというようなこともやっていってみようかなと、市長も申しますように我々もそういうことで進んでみたいというふうな思いはございます。

以上です。

○議長（初村 久藏君） 13番、波田政和君。

○議員（13番 波田 政和君） ありがとうございます。そういった意味から何が起爆剤となってPRが行き届くかということは、これといったものないかもしれませんが、やっぱり今の話題に乗ってやっていくことが一番大事であるし、観光も含めて対馬自体がよくなるためにやっていると思うんですよ。町並み整備も全てですね、そういったことから考えたら、ありとあらゆることを後出しではなくて自分たちから進んでやっていくということを市長はじめ職員の方々にお願いしたいんですよ。

これは島がよくなることでございますので、皆さんが常に真剣に考えながら業務はなされておるということは前提のもとで話をさせていただいておりますから、やっぱりそういったこともどういう動きをしているのかを実は市民も分からないではないですか、結果が出るまではですね。だから我々もそういった時間をいただきながら、公の電波を借りながらいろんな角度で話をさせてもらっているはずなんです。そういった意味から今回は地域の声を市長に伝えながら、やっぱり来る対馬の観光産業がよくなるように、元に戻るように私は期待しながらお願いしております。

私事で申し訳ございませんが、私が機会あって旅行に行くことがあったんですが、そういう中で工事看板がたくさんあるとかホテルに足場がかかっているというのはもう台なしなんです、気持ちよく行っても。だからこそ、今、観光客が少ないときにいろんなことを整備を急ピッチでやっていただきながら、たくさんの観光客が対馬に来島したときに気持ちよく帰っていただけるように、常日頃から考えていただければ対馬のPRになるかと思っておりますので、いろいろ含

めて対馬がよくなるように市長をはじめ皆さんお力を貸していただきながら頑張ってもらいたい  
と思いますのでよろしくをお願いします。

これで、少し早いですが終わります。ありがとうございました。

○議長（初村 久藏君） これで、波田政和君の質問は終わりました。

---

○議長（初村 久藏君） 以上で、本日予定しておりました市政一般質問は終わりました。

本日はこれで散会にします。お疲れさまでした。

午後2時49分散会

---